

臨時号

2017年・日本島嶼学会館島大会

里地区コミュニティ協だより

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958



九月二日(土) 上記学会の大会が里公民館多目的ホールと里定住センターで、開催されます。

【プログラム】

●シンポジウム(里公民館)

十時〜十二時十分
——島嶼地域を含んだ広域合併の現状と課題——

貴重講演

古川英利氏

「館島への集中的な観光政策」

パネラー

庵地 優氏
唐澤智子氏

●研究発表(里定住センター)

十三時〜十七時

- A会場 国境・人口移動①
- B会場 海外/生活・文化
- A会場 人口移動②・経済産業
- B会場 文化人類学・災害防災
- 研究奨励賞授与式(里公民館)
十七時十五分〜

館島が今回大会会場に選ばれたのは、国境離島や海洋離島の性格、典型的な過疎の島であり、過去の離島苦を凝縮している一方で、自然や歴史・民俗の宝庫だということ。ここには、全ての離島の現代的な問題の外、過去から受け継がれてきた先人の遺産など、離島の未来を予見できるものがあるという事があります。

興味のある方は、ご参加ください。又、1日と3日には、学会員の皆さんの島内巡遊があります。

7月15日(土) 文部科学省拠点整備事業「地域志向教育研究」の成果報告会が里定住センターで開催されました。

7月8日(土) 全国離島推進員連絡委員会の意見交換会及び交流会がありました。

全国離島振興協議会から委嘱された離島振興青年推進委員有志並びに本会に賛同する離島成年を会員とする唯一の全国組織の会議で、日本の各離島の各分野で、島づくりの取り組みを続けている理事の会議が本市・本庁で開催されました。十七名の参加。
三重県鳥羽市・福岡県糸島市・大分県姫島村などから、国交省や新聞社からも参加がありました。

鹿児島大学かこしまCOCセンターと薩摩川内市による共同事業。地域資源と観光の可能性。島嶼圏の水産業の活性化。六次産業化で地域活性化を。離島観光とUBSの活用。海洋長波モニタリングの研究などでした。